Abstract of Japanese Utility Model Laid-Open Publication No.85751/1991

This Japanese Utility Model provides a lubricating oil filter mechanism of a final reduction gear for a vehicle,

being characterized in that an oil filter case (21) is formed integrally with an oil passage (20) which connects an oil pomp (16) formed on a casing of the final reduction gear for the vehicle to a side of an input shaft (4),

the oil passage (20) is formed between an inner peripheral face of the oil filter case (21) and a built-in tubular filter (22, 22A) so that the tubular filter (22, 22A) can move inside the oil filter case (21), a cover (23. 23A) is firmly attached to the end portion of a downstream side of the tubular filter(22, 22A) , and a spring (24, 24A) urging the cover (23. 23A) toward an upstream side is provided.

19 日本園特許庁(JP)

①実用新案出願公開

@ 公開実用新案公報(U) 平3-85751

Int. Cl. 5

1.

識別記号

庁内整理番号

F 16 H 57/04

F 9031 - 3 J ❸公開 平成3年(1991)8月29日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

図考案の名称

車両用減速機の潤滑油フイルタの構造

顧 平1-144164 ②)実

22出 願 平1(1989)12月15日

四考 案 者 金 田 tb.

埼玉県上尾市大字を丁目1番地 日産ディーゼル工業株式

会社内

勿出 顧 人

日産デイーゼル工業株

埼玉県上尾市大字壱丁目 1 番地

式会社

13代 理 人 弁理士 高橋 敏忠

外1名

匈実用新案登録請求の範囲

車両用減速機のケーシングに形成された油ポン プとインブットシャフト側とを接続する油路にオ イルフイルタケースを一体に形成し、眩オイルフ イルタケースの内周面と内蔵された筒状フィルタ との間に油路を形成し且つ該箇伏フイルタをオイ ルフイルタケース内で移動可能にせしめ、該筒状 フイルタの下流側端部にカバーを固着し、該カバ ーを上流側へ付勢するスプリングを設けたことを 特徴とする車両用滅速機の潤滑油フイルタの機 造。

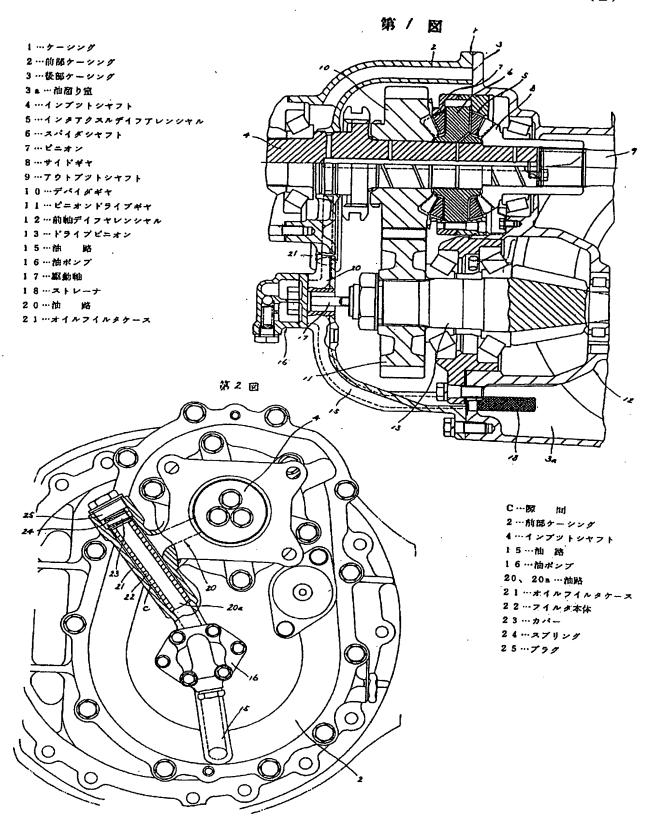
図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示す側断面図、第

2 図は第1図に示す実施例の正面断面図、第3図 は前記実施例の要部を示す部分拡大正面断面図、 第4図は前記実施例の作用を示す部分拡大正面断 面図、第5図はその他の実施例の要部を示す部分 拡大正面断面図、第6図は従来技術の部分拡大正 面断面図、第7図は従来技術の作動状態を示す部 分拡大正面断面図である。

16……油ポンプ、20……油路、21……オ イルフイタケース、22, 22A----フイルタ、 23, 23A……カバー、24, 24A……スプ リング。

実開 平3-85751(2)



1.

実開 平3-85751(3)

